

ベストクラス選定理由書

作成者：西田有吾、渡邊香子、小林美紅、岡坂憲一、庭瀬敬右、谷林径明

科目名称 : 教員のための学校組織マネジメントの実践演習 (昼間 (①) クラス) (担当教員名 : 浅野 良一、川上 泰彦、黒岩 寛)	
課程 : 大学院 (専門職)	開講時期 : 前期
授業形態 : 講義・演習	授業規模 : 31人以上
インタビュー対象教員名 : 浅野 良一 (実施日時 : 令和4年8月8日(月) 14:00~14:30 ; 実施場所 : 図書館会議室)	
インタビュー対象受講者名 : 池上 誠朗、塩 晃、福永 昌史 (実施日時 : 令和4年8月8日(月) 14:30~15:00 ; 実施場所 : 図書館会議室)	
【選定理由】 本科目は、管理職としてどのように学校を運営するかを学ぶ授業であり、受講生は現職教員のみで構成されている。本科目は、受講生による授業評価アンケートの評価値が高く、「事前に配布されたテキストが充実しており、また理論と現場を繋げながら学ぶことができた」と評価されていたことから、本科目をベストクラスとして挙げた。 【担当教員・受講生に対するインタビューより】 ・教員は、授業の理解を深めること、学校で活用・実践できるようになること、授業で学習したことを普及できるようになることの3点を、授業のねらいとされていた。受講生は、「毎回それらを感じさせる授業であった」と語っており、教員の授業のねらいと受講生にとっての授業の印象が合致していた。 ・教員は、授業テキストやパワーポイントのスライドを冊子にした資料、章ごとにまとめられた動画を作成し、受講生に配布されていた。テキストとスライドを照らし合わせられるよう、スライドにテキストの参照ページを記載している点や、章ごとにキーワードをまとめてられている点、授業の全体像を示されていた点などから、丁寧で分かりやすいテキストで、受講生にとって学習の整理のつく工夫が多く見受けられた。 ・理論をどのように現場で活用していくのか、そのような理論と実践を繋ぐための橋渡しを演習で行っていた。受講生は、「講義で学んだ理論を踏まえて、演習で自分自身の学校の現状を振り返る際に、腑に落ちる感覚を味わった」と語っており、理論と実践の融合が実現されていた。 ・毎回の授業で、受講生が交流できる場を設けられていた。受講生は、「異校種の現職教員とのグループワークを通して、様々な地域での学校の様子や実践を共有できた」と語っており、受講生同士学び合う場となっていたことがうかがわれた。 ・受講生のインタビューにおいて、「教員が理解しやすい言葉で話されていたため、難しい内容であっても、その難しさを感じさせない授業であった」「教員が授業内で自分自身の意見や経験を引き出してくれる、安心感のある授業であった」と語られているように、教員の話しやすい人柄や話し方が本科目の良さにつながっていることもうかがわれた。 【まとめ】 以上より、本科目をベストクラスとして推薦する。	